

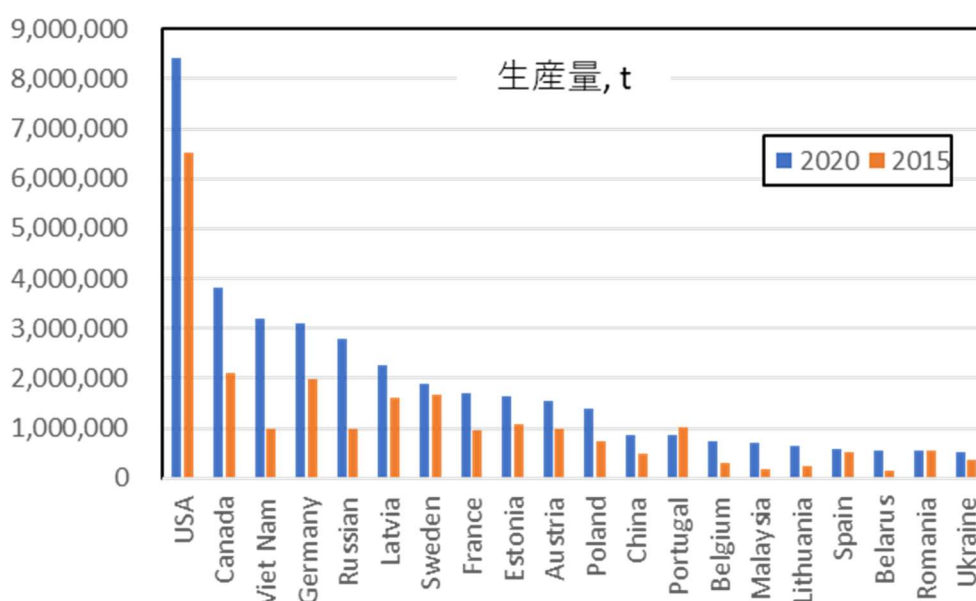
7. 木質バイオマス利活用の実態 (5)

木質ペレットの国別生産量とその推移

FAOSTAT（国連食糧農業機関データベース）によると、世界の木質ペレット生産量は2015年2,738万t、2020年4,368万tで5年間に1.6倍と高い伸び率を示している。

図表7.5は2020年の木質ペレット生産量のトップ20について、2015年の生産量とともに示したものである。これらから以下の事象を読み取ることができる。

- 米国は断トツで800万tを超え、カナダ（383万t）、ベトナム（320万t）、ドイツ（310万t）、ロシア（280万t）と続き、アジアからはベトナム、中国（87万t）、マレーシア（71万t）が入っている。その他にアジアでペレット生産が確認されているのは、25位インドネシア（33万t）、32位韓国（24万t）、37位日本（12万t）、44位タイ（6万t）であった。
- 大陸別では、欧州（ロシアのシベリアと極東を含む）が約2,500万tで北米（約1,200万t）の2倍強と最も生産活動が活発である。アジアは約560万t、オセアニアは約15万t、アフリカは5万tとなっている。
- バルト3国（ラトビア、エストニア、リトアニア）は、大消費地EU諸国への地の利から小国にもかかわらず比較的高い生産量を示している。
- 5年間での生産量推移をみると、ほとんどの国で生産量がアップしている。3倍以上の伸びを示すのはベトナム、マレーシア、ベラルーシで、とくにベトナムはドイツを抜きカナダに迫る勢いである。またロシアも3倍に近い伸びを示している。これら生産量の急激な伸びを示す国々はいずれも輸出を主としており、新たなペレット需要の展開が生じていることを示唆する。詳細は後日メモする。



出典：FAOSTATデータより作成

図表7.5 木質ペレットの国別生産量とその推移